

質疑・要望	内 容
質問	予算書の議会費に記載されている議員報酬等の金額が、公開されている議員の年収から計算した額と合わないのはなぜか。
調査結果	予算書の議員報酬等には、議員報酬のほかに共済費が含まれている。
意見要望	今回の大雪で、公園の雪捨て許可が後になってから下りるなど、その場しのぎの対応となっていた。雪捨て場とする公園や学校を最初から決めて整備しておくなど、長期的な除雪計画を立てるべきではないか。
現状説明	公園は周囲がフェンスで覆われているところが多く、遊具等もあるため、雪捨ての許可がなかなか出せなかった。今後は雪捨て場として活用できるよう対策を考えていく。今回の大雪を踏まえ、年内に雪害対策の方針を打ち出すと聞いているので、議会においても議論していきたい。
質問	除雪対策費の予算が4億1,590万円となっているが、対策費用としては少ないのではないか。
回答	足りない場合は、昨年度と同様に補正予算を組んで対応する。
質問	下水道整備事業に多額の予算がかかっている。市内の下水道整備はほぼ済んでいると思っていたが、まだ整備が必要な場所があるのか。
回答	現在、麻生津地区や東藤島地区などで整備を行っており、平成36年度までには市内の整備を完了する予定である。また、地震対策として、耐震管への切り替えが必要であり、そのための予算も計上している。
質問	下水道使用料等が値上げされるが、旧美山町など合併浄化槽を使用している地区も料金は同じか。
回答	料金は市内一律である。
質問	教職員のノー残業デーの実施率はどのくらいか。
調査結果	教職員のノー残業デーについては、昨年10月の二学期からスタートし、毎週水曜日に18時全員退勤を管理職が呼びかけている。18時以降に残業する場合は報告するようにしているが、その数は平均して全教職員の1%程度である。
質問	U・Iターン対策を大学生中心に行っているが、小学生向けに郷土愛を育むようなキャリア教育事業に力を入れることができないか。また、現状はどうなっているのか。
回答	現状としては、福井青年会議所、福井商工会議所青年部、福井経済同友会等と連携し、福井市キャリア教育連絡協議会を立ち上げ、小・中学校でキャリア教育プログラムを実施している。キャリア教育には、これからもっと力を入れていく必要があると考えている。
意見要望	競輪事業対策特別委員会はそろそろ終了して、災害対策の特別委員会をつくってほしい。また、議会改革特別委員会を復活してほしい。
質問	市長交際費は明細を市役所1階の情報発信コーナーで公開しているが、議長交際費の明細については公開しないのか。
回答	市長と議長が足並みをそろえて交際費の明細をホームページで公開しなければならないということはない。
調査結果	情報公開請求により閲覧が可能。
意見要望	議会報告会での報告事項について、口頭で報告しているが説明不足だと感じる。大きな事業の進捗状況について資料に記載するなど、市民が理解しやすいような報告をしてほしい。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。

質疑・要望	内 容
質問	市役所別館の耐震補強工事はいつ終了するのか。
回答	耐震工事自体は終わったと聞いている。周辺工事が済めば完了する。
調査結果	耐震改修工事は今年3月に完成している。残りの周辺舗装工事が今年の夏に完成することで、全体の工事が終了する。
質問	一般会計の歳出1,052億円の歳出は、市民一人当たりになるとどのくらいになるのか。
回答	市民一人当たりになると40万円ほどになる。
質問	重要な問題である人口減少対策についての報告がなかったように思うが、福井市の人口減少対策はどうなっているのか。
回答	本市では「福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」を策定し、人口減少対策の施策に取り組んでいる。今回報告した中では、「地域の魅力発信事業」や「未来へつなぐ福井の農業活性化プロジェクト」などが総合戦略の中の施策である。
質問	中核市になると職員増や負担増が生じるのか。
回答	保健所の設置に伴い、医師や保健関係者等が増員になる。中核市移行後の経費については、全額国の交付税措置があるので負担は増えないと市は説明しているが、議会としても今後注視していく必要があると考えている。
調査結果	中核市移行後の経費については、全額交付税措置があるが、中核市移行前の準備経費は一部のみ交付税措置の対象となる。
質問	平成30年度当初予算の中で、川西西部に関する予算はどのようなものがあるのか。
回答	本郷地区では、大谷川の護岸工事や大年町の市道の拡幅工事などがある。
質問	西部消防署の建設の話はどうなっているのか。
回答	消防署の分署については、場所も決まったので、今年中には形が見えてくると思う。
質問	まちなかの観光スポットは整備されてきているが、観光バスの駐車場がない。整備する必要があるのではないか。
回答	北陸新幹線福井開業に伴う駐車場の整備については、議会でも何度か取り上げている。市からは、開業までに全体の駐車場の状況を見ながら検討すると聞いている。
意見要望	金沢市では外国人観光客が増加している。経済的にも北陸3県で取り残されないようにしっかり取り組んでほしい。
質問	排雪場について、もう少し対策を考えた方がいいのではないか。
回答	今年は公園も雪捨て場として開放したが、排雪に時間がかかり過ぎた。今後は、市街地周辺の田んぼを雪捨て場として借り上げるなどの対策をとるよう市に要望しているところである。
質問	除雪作業による道路や柵等の破損については、除雪業者が修繕するのか。
回答	道路やガードレール、柵などの破損状況を現在調査中であるが、今回は全て市の予算で修繕することになっている。

4月4日 本郷公民館

質疑・要望	内 容
質問	都市部では空き家対策が話題となっているが、福井市の空き家対策はどのようになっているのか。
回答	空き家対策の条例を制定し、行政代執行もできるようになっている。また、空き家の実態調査を行い、地区ごとの空き家数等を公表し、今後対策を行うことになっている。なお、今後は、空き家対策の窓口を住宅政策課に一本化して相談に応じることになっている。
意見要望	本郷公民館には和式トイレしかないので、洋式トイレをつくってほしい。また、公民館の新築についても、早くお願いしたい。
質問	川西体育館の建設の話はどうなっているのか。
回答	川西体育館については、建設することになってはいるが、場所を選定するにあたっては、解決しなければならない問題があるため、今しばらく時間がかかる。
意見要望	本郷地区のような中山間地では、規制が強く補助金も活用しづらいことから、田畑を守りにくくなっている。規制を緩和し、補助金が受けやすくなるよう国に要望してほしい。
現状説明	中山間地では、農業の問題だけでなく、集落自体の維持をどうするのが大きな課題となっている。農家民宿などを進めている地区もあり、いろいろ試行錯誤しながら対策を考えていく必要がある。
質問	鳥獣害対策について、市はどのように考えているのか。
回答	一部の地域では、国庫補助を利用した柵が整備されているところもあるが、地区全体の整備を行うのは難しい。市としても、電気柵やネット柵に対する補助を行うなど、鳥獣害対策の予算を計上している。
質問	各委員会の報告の中には、一般会計のほかに特別会計も含まれているのか。
回答	概要報告では一般会計の歳入・歳出について細かく説明したが、各常任委員会の報告は、一般会計・特別会計・企業会計を含んだ内容となっている。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。

質疑・要望	内 容
意見要望	国体開催中には県外から多くの観光客が訪れると思うが、公園をはじめとした公衆トイレの環境がよくない。中央公園のトイレも新しくなったのにシャワー付きではない。足羽山のトイレも和式である。改善してほしい。
意見要望	下水道使用料の値上げについて、市民目線に立った説明をしてほしい。
現状説明	下水道使用料については、議会でも議論を重ね様々な意見が出たが、インフラの維持管理に多額の費用がかかることなどから、値上げを承認した。
質問	県道などでは電線の地中化を行っているが、市道では行わないのか。
回答	駅周辺の区画整理事業にあわせて一部の地域で行っている。多額の費用がかかり、また、電力会社と費用負担について協議する必要があるので、簡単にはできない。
意見要望	ハピテラスのスケートリンクの状況を見ても、需要はあると思うので、行政で福井市内にスケートリンクをつくってほしい。
意見要望	新文化会館は、2,000人収容と聞いているが、福井市の人口から考えると多すぎる。それに比べて駐車場が70台では少なすぎる。また、現文化会館は楽屋環境が良くないので、改善を検討してほしい。
意見要望	中心市街地の活性化のため、駅前の恐竜モニュメントのミニチュア版を作り、足羽山や養浩館などの観光地に配置して、スタンプラリーができるようにしてほしい。
意見要望	新文化会館について、市民目線に立った説明をしてほしい。
現状説明	市民の方はもちろん、市外の方にも使いやすい施設となるよう、現在議論を重ねているところである。
意見要望	市長交際費の詳細を市役所1階の情報発信コーナーで公開しているなら、議長交際費の詳細も公開してほしい。
調査結果	情報公開請求により閲覧が可能。
意見要望	議会報告会の参加人数が少ない。若い人を中心にもっと多くの人が集まるような方策を考えてほしい。
現状説明	今年で市内全地区を回り終えるので、来年度以降の議会報告会のあり方について、今後検討していきたい。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。

質疑・要望	内 容
質問	上下水道は企業会計に含まれるのか。
回答	含まれる。企業会計は、ガス・水道・下水道である。
意見要望	ガス・水道・下水道事業の予算額に比べ、他の事業の予算額が少ない。マーケット開発支援事業など、これからの福井市のための事業にもっと予算を使ってほしい。
質問	市債の歳入が140億円で、公債費の歳出が167億円と、借り入れより返済の額が多くなっている。今後の見通しも含めて説明してほしい。
回答	平成30年度の市債残高は、前年度と比べて減少する見込みである。今後も市債は減少していくと思われる。臨時財政対策債は増加しているが、この償還費用は国から交付税措置される。
質問	国体や足羽山魅力向上事業、東京オリンピック事前キャンプ誘致事業などの施策について、投資に見合った経済効果が得られるのか。
回答	民間企業のように利潤追求が目的ではない。例えば、国体で来福された方に足羽山などの名所や福井の食を知ってもらうことで、また福井に来ていただけるというような効果もあると考えている。
意見要望	清水北公民館前の道路を除雪路線にしてほしい。
意見要望	高齢者運転免許自主返納の特典が不十分で、自主返納が進まない。路線バスの乗客が少ない昼間の便について、料金を無料にしたり、思い切った値下げをしてみてもどうか。
意見要望	路線バスの清水グリーンラインは、赤十字病院やみどり図書館を經由するため、福井駅まで30分もかかる。福井駅直行の便を1時間おきに運行してほしい。
質問	除雪の影響で道路にたくさん穴があいている。清水北地区の道路補修はいつ終わるのか。
回答	今回の除雪関係の費用が莫大であったこともあり、順次補修していくしかないのが実情である。
意見要望	清水北公民館は建設して40年たつが、山際に立地しており、土砂崩れの危険があるなど、災害時の避難所として安全面に不安がある。今年度、改築の予算がついているが、危険な非常階段については現状のままである。不安解消をお願いしたい。
質問	新しい福井市文化会館の建設費用はいくらかかるのか。
回答	まだ数字は出ていない。
意見要望	議員の報酬、期末手当等の各種手当、共済費についての説明や、常任委員会の視察報告、政務活動費など、もっとホームページで議会の情報を公開し、議会の透明性を高めてほしい。
意見要望	議会改革や災害対策の特別委員会を設置してほしい。

質疑・要望	内 容
意見要望	「つるつるいっばいのおもてなし」と言っているが、福井市役所正面横の福井市の案内図が非常に古いままなので、何とかしてほしい。
調査結果	国体までに、地図データを新しいものに更新する予定。
質問	平成30年度当初予算の総額が前年度と比べ2.9%減少しているが、財政規模が縮小しているということか。
回答	大型の公共事業が終了したことなどにより、財政規模が縮小している。
質問	中核市に移行するとのことだが、人口30万人以上が中核市の条件ではなかったか。
回答	特例市制度が廃止され、中核市の要件が人口20万人以上に緩和された。
意見要望	今後降雪や除雪の状況を、行政がSNSや防災無線を活用して発信できないか。また、市民に車の使用や不要不急の外出をしないよう大々的にPRすることも検討してほしい。
質問	今年の大雪の際、除雪車は走っただけで除雪しておらず、その後圧雪で雪が固くなり、家の前でも何台も車が立ち往生していた。除雪対応が遅れたのではないか。
回答	今年の大雪は、予想を超えるものだった。業者やオペレーターの数が不足していること、また、除雪した後でさらに雪が降り積もったことなどから除雪が追いつかなかった。3月議会でも除雪に関して多くの質問が出され、市側からは今後除雪体制の見直しを行うことなどの答弁があった。
意見要望	自治会長が直接業者をお願いしたが、時間がかかり除雪できないと言われた。また、排雪に入るのが遅かった。今後改善して、市民が快適な生活ができるようにしていただきたい。
質問	平成32年に都市ガス事業が民間に移譲されるが、料金が高くなることはないのか。また、民間は行政ほど安定していないのではないかという心配がある。
回答	事業譲渡にあたっては、委員会を設置し、料金水準の維持などを条件とすることを検討している。
質問	市議会だよりを読むと、32人のうち30人の議員はほとんどの議案に賛成している。このことについてどう思うか。
回答	議案については本会議や各常任委員会、予算特別委員会で議論しており、議員が指摘した事項については、行政側もしっかりチェックするなど対応をしている。
意見要望	議会は議論する場だと思うが、十分な議論が行われていない。もっと活発な議論をお願いしたい。
質問	議会報告会の出席者がとても少ない。住民が関心を持って出席してくれるような方策を講じるべきでないか。
回答	議会報告会のあり方については、今後検討していく。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。

質疑・要望	内 容
意見要望	福井市には各種補助制度・助成制度があるが、市民には十分に周知されていない。もっと広く市民に情報を伝えてほしい。
現状説明	年度当初には、自治会長あてに自治会に関する各種補助・助成制度についてお知らせしている。しかし、住民全てには周知できていないので、周知方法を考える必要がある。
意見要望	今年の大雪に対する除雪対応がうまくいっていなかった。最近大雪が無かったため、除雪の技術が相当低下している。来年にはこのようなことがないように、今年の実験を踏まえ、しっかり対策を立てて除雪に取り組んでほしい。
現状説明	今後は地域の方の意見を聞きながら、また、業者とも連携しながら、行政とともに除雪対策に取り組んでいきたい。
意見要望	報告の中に「まちなか」という言葉がよく出てきたが、「まちなか」だけでなく、福井市東部にも力を入れていただきたい。JR福井駅も、東口は駐車スペースが少ない。また、福井インターチェンジは福井市の玄関口であるが、お食事処、お土産の売店、休憩や待ち合わせする場所がない。福井インターチェンジ周辺をもっと栄えさせていただきたい。
意見要望	中小企業に対する各種支援があるが、申請してもなかなか認可がおりない。零細企業を助けるためにも速やかな支援をお願いしたい。
質問	議会報告会は以前から行っているとのことだが、酒生公民館ではなぜ今まで開催されなかったのか。
回答	市内49公民館を1年間で全て回るわけではなく、5年かけて全公民館を回っている。

質疑・要望	内 容
質問	一般会計総額に相当するくらいの市債残高（臨時財政対策債除く）がある。平成18年以前はもっと少なかったが、今後市債残高が平成18年以前のレベルに戻る見込みはあるのか。
回答	北陸新幹線福井開業に向けた福井駅周辺の事業、森田北東部の土地区画整理事業などがあり、市債残高が増えてきたが、これらの事業は終わりに近づいており、今後市債残高は減っていくと思われる。また、金利の低い借換債への切り替えも行っている。ただし、今後も文化会館の建設などの大きな事業も控えているので、議会としても、市債の動向には注意を払っていく。
質問	小型除雪機を町内で買う場合、どのくらいの助成金が出るのか。
回答	小型除雪機の補助については、まだ具体的に決まっていない。現在検討中である。
質問	除雪対策費に30億円ほどかかったとのことだが、これも市の借金になるのか。
回答	今年3月、国からの特別交付税が昨年度より15億円ほど多く入った。除雪費用として国に要望していた分などが増額されたものと思われる。
質問	一般会計の扶助費が年々増えている。福井市は子どもが増加傾向にあるのか。また、女性もどんどん県外に出て行っている中で、子育て支援サービス、障がい者支援サービスの金額が増えている。どのような支援を行うために増えているのか。
回答	新生児は減少傾向にあるが、本市の新生児は年間2,300人前後で推移している。子育て支援サービスでは、今年4月から子ども医療費の窓口無料化を実施している。また、子育て支援の費用より高齢者支援の費用、生活保護費が増えていることが、扶助費増加の大きな要因となっている。
調査結果	障がい者に対しては、地域で安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう、それぞれの状況に応じた介護や訓練などの必要な障がい福祉サービスを提供している。障がい者手帳所持者の増加、サービス事業所の増加、サービスの充実に伴い、給付費（扶助費）が増えている。
質問	少子化による学校の統廃合について、大野市では統廃合の計画が進んでいるが、福井県も少子化の傾向があるだろうし、教育民生委員会で審議していく必要があると思う。また、2学期制が本当にいいのか。学校現場にとってはむしろ苛酷になっており、決して良くなっているとは思わない。もう一度3学期制に戻すほうが効果的ではないか。
回答	教育委員会から、議会に対して学校の統廃合についての具体的な話があったことは一度もない。教育長の議会答弁では、少子化が進む中で、学校規模の適正化について検討する必要性は出てくるだろうとの話はあったが、具体的な名前をあげた話は聞いていない。また、2学期制については、福井市は県内でも先駆けて始めたが、今のところ大きな不満の声は聞いていない。2学期制だと学期初め、学期末の行事が減るなどメリットもあるが、あまり変わらない点もある。今後、元に戻すのは難しいと思うが、検証は必要であり、いろいろなご意見を伺っていきたい。



質疑・要望	内 容
意見要望	福井国体や北陸新幹線福井開業に向けて足羽山の魅力向上を図るとのことだが、我々としては地元が大事である。福井市街地も大事だが、鷹巣地区は越前加賀海岸国定公園の一部になっており、そのPRにもお金をかけてほしい。また、鷹巣、川西地区の道路の拡幅などを毎年計画的に行ってほしい。
現状説明	海岸線の観光については、観光資源を磨き上げるため、越前海岸体験・体感観光推進事業を予算付けしており、今年は例年より増額し7,922千円を計上している。観光の推進、道路の拡幅については、議会としても一生懸命取り組んでいく。決して福井市中心部だけということではない。予算特別委員会等でも議員が発言しているし、国への陳情も行っている。扶助費の増加や国体、新幹線、災害対応などで予算的に厳しい面もあるが、頑張っていきたい。 なお、福井市では近年観光を重視しており、足羽山を含めた福井駅周辺、一乗谷朝倉氏遺跡、越前海岸には特に力を入れている。
意見要望	土地改良した場所に家を建てる場合、農地転用の許可がなかなか下りない。年に2回くらいしか審査会がないが、申請があればすぐに審査を行い、スムーズに許可が下りるようにしてほしい。 許可がなかなか下りないと、若い人が市外に家を建て地域から出て行ってしまい、ゆくゆくは人口減少による学校の統廃合や空き家の問題が起こり、限界集落に近い状態になってしまう。
現状説明	議会としても切実な問題と認識しており、理事者に何度も要望している。農家の子どもが実家の近くに新しい家を建てられないということも起こっている。
質問	今年は海岸の砂が特に多く、漁船の出入りに支障をきたしている。これは県の仕事か市の仕事か。4、5年前に、県から必ず解決しますと言われたが、砂は増える一方である。鷹巣は避難港だが船が入れない。また、ウニは採れず、ワカメもつやがない。このことをどう考えるか。
回答	県の担当であるが、こちらからも県に伝える。
意見要望	政務活動費の中で大きなウェイトを占めているものに、議員や会派が作成している広報紙があるが、どのようなものをを出しているのか分からない。議会に傍聴に来た人が見ることができるようにしてほしい。議会の透明性という観点からもお願いしたい。
調査結果	市役所1階の情報発信コーナーにある政務活動費の書類の中に含まれており、閲覧が可能。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。

質疑・要望	内 容
質問	特別会計について説明してほしい。
回答	特別会計には国民健康保険、介護保険などの会計、企業会計にはガス、水道、下水道の各事業会計があり、目的別の会計処理をしている。
意見要望	新文化会館について、2,000席は本当に必要なのか。市民も疑問を持っている。また、駐車場も少ないのでもっと議論してほしい。
現状説明	議会でも、2,000席必要かどうかという議論はあった。現在の文化会館約1,100席では、採算性の問題で呼べない催しもたくさんあるが、2,000席あればもっと素晴らしい催しが開催できるということもあり、2,000席という結論になった。また、今後はコンベンションにも力を入れていく。 駐車場については現在検討中であり、これからも議論していく必要がある。また、建設や維持管理にあたっては、PFIなど民間活力の導入についても検討し、経費削減を図っていきたい。
質問	上下水道料金の2割値上げは、一人暮らしの高齢者などにとっては切実な問題だ。せめて少しずつ料金を上げるとか、企業の料金を先に上げるとか、もっと別の方法があったのではないか。
回答	今後、人口減少により料金収入が減少する。また、下水道については、建設の際に係る借金の返済額が急激に増えないよう、返済のための借金をすることができたが、平成36年度になると建設工事が一段落するため、その借金ができなくなる。そうすると、今まで以上に借金の返済額が増えるので、市民の負担が大きくなる。審議会の中では、企業からもっと料金を取ってはどうかという議論もあったが、人口減少が進む中、将来的にはどうしても料金の値上げが必要になってくる。市議会としても、次の世代の人に負担をかけないよう、先を見越して値上げに賛成した。
意見要望	議会報告会の会場ごとの参加議員をホームページ等で公表してほしい。
意見要望	議会報告会は開かれた議会として素晴らしい試みだが、参加者が少ない。選挙権も18歳以上に引き下げられたので、若い人にも来てもらえるような工夫をして、もっと盛り上がるようにしてほしい。
現状説明	今年の議会報告会については、昨年度どのように開催するか検討した結果、これまでの方針通り49公民館を一巡することになった。次回はもっと市民に関心を持ってもらえるよう工夫する必要があると考えている。

質疑・要望	内 容
意見要望	市役所の本館の床に大きなひび割れがあり、危険である。耐震診断はしていると思うが、再度調査をお願いしたい。
調査結果	市庁舎については、3年に1回建築物の定期点検をしており、安全を確認している。本館については、今年度定期点検を行う予定である。
質問	公民館の連絡協議会の会合があり、県から国体の開会式・閉会式への動員を依頼された。公民館1館あたり20人の割り当てだが、特に閉会式については、平日なので動員も大変である。市にもそのような要請がきているのか。
回答	初めて聞く話である。問題があれば指摘していきたい。
調査結果	県から市にそのような要請はこれまでない。県から直接公民館へ協力のお願いがあったと聞いている。
質問	殿下地区などでは集落が簡易水道を運営している。市が公的な立場で関わるべきではないか。滅菌された安全な水を供給すべきではないか。
回答	殿下地区などの民営簡易水道を公営簡易水道に移行しようとする、多額の費用がかかり住民の負担が大きくなるため、地元合意の形成が難しく、移行が進んでいない状況である。 なお、市は民間簡易水道に対して、安全な水が供給されるよう、水質検査や清掃補助等の支援を行っている。
意見要望	議会を市民に身近なものにするため、夜間議会の開催をお願いしたい。
意見要望	議会報告会について、地区内への周知が弱く参加者が少ない。もっと参加者が増えるような取り組みをすべきではないか。地区の特性を考え、地区ごとに人を集める方法を工夫してほしい。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。

質疑・要望	内 容
質問	除雪対策費の補正予算26億円はどこから調達しているのか。また、平成30年度予算では約4億円しか計上していないが、また今回のような大雪になったらどうするのか。
回答	今回26億円の補正予算を組んでいるが、金額はまだ確定しておらず、実際はもっとかかる。市の予算は、歳入と歳出を同額にしなければならないため、最初から除雪対策費を50億円計上すると、その分ほかの事業を50億円削減しなければならない。そのため、当初は4億円で予算を組み、不足した場合は補正予算で対応している。補正予算の財源については、今年の場合、国からの特別交付税が見込みより14億円余り多かった。ただし、この増加分には除雪費以外に、国体や北陸新幹線、台風被害による増額分も含まれている。
意見要望	福井駅前の地下駐車場が不便である。東西を地下道でつなぐと大変便利になると思うがどうか。
現状説明	駐車場を地下でつなぐことについては、議会からも市に要望しているが、地下に上下水道や電気などのライフラインが通っており、技術的に難しいと聞いている。
質問	松本地区を流れる底喰川の工事完成はいつか。
調査結果	松本地区の底喰川は県管理の一級河川であり、県が改修を行っている。県の事業計画では、平成40年度までとなっている。
意見要望	生活保護者について、健康な人には道路や公園の清掃、草むしりなどをしてもらってはどうか。
質問	新聞やニュースで、福井市が入学式を4月6日から9日に変更したことを「数日間延びた」と表現していたが正しいのか。金曜日から月曜日に変更したなら、延びたのは実質1日だけではないのか。
調査結果	入学式については、今年から4月6日から8日に変更し、春休みを2日間延ばした。ただし、今年は8日が日曜日であったため、9日の月曜日が入学式となった。
質問	保健センターの環境整備について、できるだけ早く、広いキッズスペースの設置をお願いしたい。いつ頃までに整備されるのか。
調査結果	妊婦や母子が安心して相談しやすい環境を整備するため、平成30年度中に保健センターの改修工事を行う予定である。母子専用のカウンターを設置し、プライバシーに配慮した利用しやすい環境を整えるとともに、キッズコーナーや授乳室を設置する。
質問	教育民生委員会に係る主な予算の概要について、子ども医療費助成事業以外は他の常任委員会の事業と比べて金額が小さい。もっと目玉になるような事業は無いのか。
回答	全体の予算としては、普通建設事業費は以前と比べて大幅に減少しており、代わりに教育・福祉に関わる扶助費が増えている。今回取り上げた単一の事業では金額が少ないかもしれないが、教育・福祉全体の予算額を見ると、普通建設事業費とは比べものにならないほど大きな金額となっている。
意見要望	福井には継体天皇の時代から、日本の歴史を動かした偉人が多くいる。もっと全国にPRしてはどうか。
現状説明	市長が上京するたびに、NHKにドラマの誘致活動を行っているが、福井土着の人物がなかなかいない。また、人気のある歴史的人物がいない。

4月11日 松本公民館

質疑・要望	内 容
質問	ガス事業の売却益はいくらくらいを見込んでおり、それはどのように使う予定か。また、売却方法は。
回答	公営としてのガス事業の役割はほぼ終わっているとの判断から民間に売却するものであり、売却益を目的とするものではない。売却先については公募を行い、落札した業者に売却することになるので、売却額は入札してみないとわからない。
意見要望	もっと議員同士が意見交換する機会を増やしてほしい。
現状説明	議員にはそれぞれの思いがあり、議員同士だけで話をしてもなかなか話が決まらない。そこで、市全体のことについては、市長から提出された議案について、議会で意見を出し合い、審議を行っている。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。

質疑・要望	内 容
意見要望	固定資産税が、年金受給者には重い負担となっているので軽減をお願いできないか。
現状説明	固定資産税の課税の基準は国が決めている。生活が厳しいということは市にも伝えさせていただく。
意見要望	ハピリン内のマンションは完売していると聞いたが、夜間には半分以下しか灯りがついていない。人口を増やす目的もあって再開発を進めていると思うので、マンションを売って終わりではなく、その後の対応もお願いしたい。
意見要望	一乗地区の下水道整備が遅れている。もっと早くやってもらえないか。
現状説明	下水道の建設は、国の補助金に大きく依存しているが、近年は国の補助金が減っていることから、一乗地区に限らず、下水道の建設が遅れている。
意見要望	除雪について、市職員にオペレーターの免許を取得してもらい、大雪の際には除雪作業にあってもらえないか。
現状説明	市職員にも免許を持っている者はいるが、直接除雪作業にあたるよりも、全体的な指示を出す側に立つべきだという考え方もある。このようなことも含め、今後の除雪体制については、市と議論していきたい。
意見要望	一乗公民館の移転について、前倒しで行ってほしい。
質問	東京オリンピック事前キャンプ誘致事業について、誘致することによる本市のメリットは何か。
回答	本市とスロベニアは、ともに水仙と蕎麦の産地であるという共通点があり、今後友好関係を築いていきたいとの思いからスロベニアを選んだと聞いている。また、東京オリンピックに向けて日本全体が盛り上がっていく中、本市も一緒になって盛り上がってほしいという思いもある。さらには、子どもたちによる国際交流を深めていくこともメリットであると考えている。

質疑・要望	内 容
意見要望	上下水道料金を値上げすることだが、市長の退職金を返上し、給与を半額にするなど、身を削る改革をしてからにしてほしい。1期4年ごとに退職金をもらう制度は納得いかない。
質問	河合地区の八ヶ川について、30年前から改修の計画はあったが、遅々として進んでいない。水田によく水がつくこともあった。改修状況はどうなっているのか。また、川西国道線の整備については話が進んでいるのか。
調査結果	八ヶ川は県管理の一級河川であり、県が改修を行っている。これまでに九頭竜川合流点から北川合流点までを整備し、現在は住宅地が多い八ヶ川支川北川の改修を進めている。北川の改修後に、再度八ヶ川の整備を行うと聞いている。 川西国道線については、平成27年度から川合鷲塚町地係から天池町地係（つくしの病院付近から主要地方道福井金津線（通称嶺北縦貫線））の区間を事業化して整備に着手している。現在、用地買収等を行いながら道路を改良している。
意見要望	議会改革について、市民オンブズマンの評価では、福井市議会が県内最下位である。政務活動費が前払いで、領収書のコピーを添付することとなっているが、後払いにして、領収書も原本添付にしてほしい。他の市議会のお手本となるような議会改革をしてほしい。
意見要望	議会報告会は、市民と議員が直接語り合えるよい機会と思うので、もっと参加者が増えるような取り組みをしてほしい。回数についても年4回、せめて年2回は実施してほしい。また、常任委員会だけではなく特別委員会についても報告をお願いしたい。
質問	もし、来年も議会報告会をするのであれば、市議会の改選前か改選後か。
回答	通常であれば、改選後となる。ただし、改選後は新人議員もあり、市民の質問に十分に答えられるよう、開催までしばらく時間がかかる可能性がある。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。

質疑・要望	内 容
意見要望	2月13日の市長の記者会見の「黙っていても雪は消える」の発言が腹立たしかった。
調査結果	市長は記者会見で「今回の雪で一番早く処置したい課題は何か。」と記者に聞かれ、「とにかく市民生活が正常に戻るためにやらなければならないことをやるということが必要だと考えています。黙っていても雪は消えるのですが、このままでは道にできたでこぼこのせいで活動ができない。まずは、これらをしっかり処理することが大事だと考えている。」と回答している。
意見要望	殿下地区は防災ハザードマップでイエローゾーンが多いので、ぜひ安全確保のための調査を行ってほしい。
意見要望	殿下の水谷地区は今年の大雪の際、4日間除雪が入らず孤立した。4日目の午後ようやく除雪が入ったが、車が通れるような除雪ではなかった。地区には高齢者が多く、行政の力がなければ住み続けることができない。今後とも当地区の支援をお願いしたい。
現状説明	昔と比べ、オペレーターの数も除雪業者の人数も大幅に減少している中でこのような大雪となり、市民の皆様にご迷惑をおかけした。今後は、どのような除雪体制を構築していくかが大きな課題である。
意見要望	殿下公民館の建物は耐震診断でE判定であった。市に建て直しを要望したところ、殿下地区は防災ハザードマップでほとんどがイエローゾーンとなっているため、新たな建設は難しいとのことだったが、地区住民が安心して暮らせるようお力添えをお願いしたい。
意見要望	殿下地区の防災有線放送がなくなるという話があるが、地区の一斉放送は存続してほしい。
調査結果	自治会等が設置している有線放送については、各地区にて維持管理をお願いしたい。災害や避難等の情報は、防災行政無線や防災気象情報メール、インターネット、テレビ、ラジオ等の多様な方法により発信していく。
意見要望	殿下地区は過疎化が進んでいる。農業をする人は少なくなり、山に入る人もほとんどおらず、荒れ放題となっている。農業、林業の環境整備を進めてほしい。
意見要望	今年の大雪の際、町内の水道が断水し、簡易水道課に毎日来てもらい水を供給していただいた。水道が復旧したのは1か月後だった。地区には高齢者が多く、行政の力がなければ住み続けることができない。今後とも当地区の支援をお願いしたい。
質問	去年、国の予算で鳥獣害対策のワイヤーメッシュの工事を行った。国の事業は去年で終わりとのことだが、今年度は補助はないのか。
回答	国の補助が終わると、市単独の事業で行う必要があるが、国の補助がなくなると事業をやめることが多い。事業を続けるためには、住民から強く要望してほしい。
調査結果	国・県の補助は継続されている。補助要件があるので市の有害鳥獣対策室まで問い合わせ願いたい。
質問	議会中の議員の行儀が悪い。途中退出するのは懲罰の対象にならないのか。
回答	懲罰の対象にはならないが、そのようなご意見があったことは真摯に受け止め会派の中でも指導していきたい。

「調査結果」とは、その場で回答できなかった質問について、議会報告会終了後、市の担当所属で調査した結果です。